

「コロナ疲れ」に読むと癒される本

いまだ終息の見通しが立たない新型コロナウイルス。メディアでは連日コロナのニュースばかり。目からも耳からもコロナの情報から少し距離を置きたい気分になっていませんか？そんなココロが「コロナ疲れ」になった時に、癒しを与えてくれる本について、新津図書館の司書の丸山さんと村山さんより一般書と児童書でそれぞれ1冊ずつ選んでいただきました。



【一般書】
『懐かしの昭和ドライブイン』
越野弘之／著 グラフィック社
2019年

もともとアメリカで誕生し、昭和39年頃日本に普及したといわれるドライブイン。本書では日本各地に現存している、またはかつてあったドライブインを紹介しています。

レトロな自動販売機や店内の様子など、写真を見るだけでなぜか懐かしくなり、ほっこりした気持ちにさせられます。

気軽に旅行に行くことができない昨今ですが、本書を読んで旅行気分をひたすることで、癒されてみてはいかがでしょうか。(丸山)



【児童書】
『みしのたくかにと』
松岡享子／作 大社玲子／絵
こぐま社 1998年

ある日、ふとっちょのおばさんは、台所の戸だなのすみで小さい黒い種一粒を見つけました。道行く人からは「あさがおだよ」と言われたり、「すいかだよ」と言われたり。どっちだろう、と楽しみにして植えました。近くにはこんな立てふだも作りました。

「あさがおかもしれない、すいかかもしれない、とにかくたのしみ」幼い王子は近くを馬車で通りかかりこれを逆さまに読んで、へんなの、と思いました。やがて、このおまじないのような言葉がきっかけで王子は大変身を遂げるのです。(村山)

お知らせ

4月号(第784号)にてご紹介しました「おはなしのせかいへ」のうち、7月18日(土)に小須戸まちづくりセンター1階保育室で開催予定の「こわいおはなし会」は中止となりました。

小須戸地区図書室 新刊案内

- 【一般書】
- ・『疲れたから休みます。と言えないあなたへ 自律神経失調症は改善できる』渡辺正樹著
 - ・『今日も町の隅で』小野寺史宜著
 - ・『戦時大捜査網』岡田秀文著
 - ・『三年長屋』梶よう子著
 - ・『わかれ縁』西條奈加著
 - ・『日本文学全集06 源氏物語下』池澤夏樹編
 - ・『冷凍できるお弁当ミールプレップ』牛尾理恵著
 - ・『クスノキの番人』東野圭吾著
 - ・『焼売、ときどきチャーハン 肉も野菜もたっぷり! 絶品66レシピ』五十嵐美幸著
 - ・『少量でおいしいジッパー袋でかんたん季節の保存食』榎本美沙著
 - ・『つくりわけおかず300』小田真規子著
 - ・『流入道中記』上・下 浅田次郎著
 - ・『思わず見とれるゼリースイーツ』大越郷子著
 - ・『十字架のカルテ』知念実希人著
- 【児童書】
- ・『とんでいく』風木一人／作、岡崎立／絵
 - ・『やたいのおやつ』ふじもとのりこ／作・絵
 - ・『すずめのまる』箕輪義隆著
 - ・『めくって学べるしごと図鑑』

秋葉区健康福祉課「健康ひとロメモ」

○コロナもフレイルも防ごう！
・フレイルとは「虚弱」という意味で、健康から要介護に移行する中間の状態をいいます。
・ずっと家に閉じこもり、一日中テレビを見たり、誰とも話さない生活が毎日続くとフレイルになりやすいです。

～フレイルを予防するには～

1. 「しっかり食べる」
一日三食、バランスの良い食事をして栄養をとることは免疫力の維持にもつながります。
2. 「しっかり体を動かす」
家の中で足踏みやラジオ体操をする等、動かない時間を減らすことが大切です。
3. 「人と交流しよう」
会話をすることで、認知症予防になります。コロナウイルス感染予防に努めながら、できる範囲で人と交流しましょう。

短歌 (自由吟) 川柳 (驚く) 俳句

紫朝マ生水三喜幸お 陽物もスクきて田寿せ出 花悲や情表姫てににかけ にしのの見して三人来帰 心気林のえ手競たに帰 潤なぬのぬ消競たに帰 いぬぬの消競たに帰 窓鳴会話毒と幼年コ 際さ話す毒と幼年コ で響のツする毒と幼年コ 梅き話す毒と幼年コ 雨声のツする毒と幼年コ に響のツする毒と幼年コ 濡窓のツする毒と幼年コ れた際さ話す毒と幼年コ たりで響のツする毒と幼年コ	日物朝マ生水三喜幸お 々陽物もスクきて田寿せ出 色悲や情表姫てににかけ 付しのの見して三人来帰 きて気林のえ手競たに帰 梅潤なぬのぬ消競たに帰 雨いぬぬの消競たに帰 に響のツする毒と幼年コ 濡窓のツする毒と幼年コ れた際さ話す毒と幼年コ たりで響のツする毒と幼年コ	玲こ高久奉能保会保増 みみ橋橋保登科田科井 泉けキネネ和と志修二都 けヨネネお枝修郎留	蘭学童のけなげにマスク薫風裡 のロンと同じ柄なる夏マス 母の日や月に寄り添ふ星一つ 手に取れば思ひ出多し更衣 更衣昨日につづく忙し中閑 茄子の花ふたつ咲きしと古い二人 板の間は素足がよければはづみ来て 蝉時雨浴びて孤独の深まれり
--	--	--	---

文芸欄

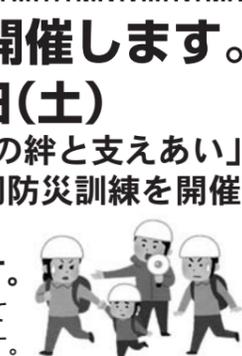
俳句・川柳・短歌募集
題材は自由(お一人一句または一首)。住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し、7月20日(月)までに小須戸地区公民館へ。
(※投稿が21句を超えた場合は先着での掲載となります。)

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため

8月1日(土)に予定していた『山の手ふれあい夏まつり』は開催しません。
11月14日(土)の防災訓練に併せて、花火の打ち上げを計画しています。



『山の手地区防災訓練』を開催します。
令和2年11月14日(土)
「大切にしたい、災害・有事の際の地域の絆と支えあい」を目的に、矢代田小学校と地域の合同防災訓練を開催します。
詳細は後日、広報等でお知らせします。
※今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、内容の変更または中止とする場合がございます。



こしも「まちセン」は花いっぱい

小須戸まちづくりセンターの花植え作業が6月10日(水)、地域住民、利用登録団体、近隣の介護施設の皆さんと小須戸コミ協、センター、出張所、公民館職員総勢33名で、感染予防対策として、参加者はマスクを着用して作業しました。



800ポットのマリーゴールド・ペチュニア・ジニアは手際よく、きれいにあっという間にセンターの花壇に植えられました。
まちづくりセンターの周りが「花と緑のまち」にふさわしく、色とりどりの花でいっぱいになりました。終了後、参加者にはセンターより、「お茶」と「花の苗」が贈られました。
暑い中、ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

編集委員のつぶやき

世界が自粛生活をする一方で、空も海もきれいになり生き物の住みやすい環境になってきたと何かで聞きました。でも世界が通常の生活に戻ったらと思うと心が痛いです。(1)